

揖斐川町消防辞令交付式

～地域を守り・安心安全なまちをめざして～

3月25日(日)、揖斐川町消防辞令交付式が、揖斐川町中央公民館で行われました。

今回、消防団員80人が新しく入団され、新人団員の代表が辞令を受け、緊迫した空気の中で宣誓が行われました。また、94人が退団され、58人が昇任されました。

式典の中で、長年消防団員として活躍された皆さんに消防庁長官表彰と、日本消防協会会長表彰の伝達が行われました。

表彰を受けられたのは、次の皆さんです。

(敬称略)

消防庁長官表彰

永年勤続功労章

副団長 野原 徹

日本消防協会会長表彰

功績賞

副団長 近岡 春幸

精績章

分団長 山口 厚美

勤続章

分団長 山口 厚美



▲辞令交付式の様子 (消防団長訓示)



▲新入団員代表による宣誓の様子

叙勲(瑞宝双光章)受章

3月5日(月)、瑞宝双光章を受章された岩井良三さん(黒田)に宗宮町長より伝達が行われました。

岩井さんは、昭和18年9月から昭和59年3月まで教員として勤められ、その間、山間地域の寄宿舎の開設に貢献。西濃教育事務所勤務時には、揖斐郡の山間地と平坦地の人事交流を活性化。

また、昭和52年4月に池田中学校長に着任され、県下初のオープン教室による教育に着手されました。これらの功績が認められ今回叙勲の受章となりました。

受章おめでとございます。



▲叙勲の伝達が行われました

F C岐阜市町村キャラバン

3月7日(水)、サッカーJリーグのシーズン開幕に合わせて、J2のFC岐阜の中島康平選手が開幕キャラバンで揖斐川町役場を訪れ、宗宮町長にチームの写真、パネルが手渡されました。

中島選手は「昨年は残念な結果でしたが、1年間怪我の無いように頑張って1点でも多く得点し、試合に来てくださるサポーターの皆さんに笑顔で帰っていただきたいです。」と今シーズンにかける意気込みを語ってくれました。

今年度は、5月3日(木・祝)に揖斐川町ホームタウンデーが開催されます。がんばれFC岐阜!



▲宗宮町長と握手を交わす中島選手(右)

中学生海外研修派遣事業報告会

「スマイル・トライ・チェンジ」

3月16日(金)、揖斐川町役場で中学生海外研修派遣事業の報告会が行われました。

今回は、1月19日～27日に実施した、アメリカ ユタ州 セントジョージ市への研修派遣団17人の中学生と引率者が報告をしました。

今回の研修では「スマイル・トライ・チェンジ」をスローガンとしており、研修では、様々なことに挑戦し、自分自身を成長させることができたという報告がありました。

また、「研修で得たものを今後の学校生活や将来に活かしていきたい。」とリーダーとして頼もしい報告もあり、家族に対する感謝の気持ちや仲間を大切にしたいという気持ちも育まれたようです。



▲海外研修派遣事業報告会の様子

伝統芸能を守り伝える

「春日太鼓踊り看板除幕式」

3月20日(火・祝)、春日美東の太鼓踊りの様子を描いた巨大看板の除幕式が、春日美東の落合橋付近で行われ、地元関係者ら約50人が出席しました。

この看板は、畳6畳分の大きさ(高さ2・7メートル、幅3・6メートル)があり、鎌倉時代から伝わる県重要無形民俗文化財である「春日の太鼓踊り」が描かれています。設置したのは、地元住民ら約50人で組織する「粕川活生会」(会長 山口保)で、伝統芸能の保存や観光客へのPRのため、県道を通る車から見やすい場所に設置されました。

山口会長は「今後とも協力して伝統芸能を伝承していきたい」とあいさつされました。



▲畳6畳分の巨大看板

久瀬地域の新たな拠点

「乙原農林水産物販売所竣工式」

3月24日(土)、乙原トンネル交差点付近に建設された「乙原農林水産物販売所」の竣工式が行われました。

販売所では、地域の農家が育てた新鮮な野菜などが販売されます。施設には厨房や公衆トイレも設けられています。

竣工式には、地元関係者ら約40人が出席し、宗宮町長は「観光交流の拠点として、地域の発展に貢献できることを期待しています。」とあいさつしました。



▲完成を祝うテープカットの様子

木質ペレットボイラー導入

「久瀬・藤橋地域の温泉施設」

3月24日(土)、「いび川温泉藤橋の湯」(東横山)と「久瀬温泉露天風呂白龍の湯」(日坂)に木質ペレットボイラーが導入され、竣工式が「道の駅 星のふる里ふじはし」で行われました。

木質ペレットボイラーは、西津波にある「いび森林資源活用センター」で加工される地域の間伐材を利用した木質ペレットを燃料とします。従来の灯油ボイラーも併用しながら森林資源の循環活用と燃料コストの抑制、二酸化炭素の排出削減を図ります。

宗宮町長は「ペレットボイラーの導入を機会に循環型社会の構築が推進されることを期待します。」とあいさつしました。



▲「いび川温泉藤橋の湯」のペレットボイラー

第5回木曾三川がつなぐ山とまち
インターネットフォーラム

3月25日(日)、久瀨公民館で「第5回木曾三川がつなぐ山とまちインターネットフォーラム」が開催されました。このフォーラムは木曾三川の上流と下流の地域住民が各地で開催するイベントを通じて相互交流を深めるとともに、水の大切さ、環境保全、地域の繋がりの重要性について理解を求めめることを目的に開催。名古屋市の皆さんと上流地域として久瀨地域の皆さんが交流し、約180人が参加しました。

会場では、よもぎ餅や地獄うどんなどが振る舞われ、参加者からの人集を集めていました。

最後には、参加者の皆さんが寄せ書きした旗が宗宮町長に手渡され、名古屋・堀川の浄化と揖斐川町を応援するエールを交換し、交流の絆を深めました。



▲名古屋からの参加者が寄せ書きした揖斐川町への応援旗を手渡されました

2012いびがわマラソン
実行委員会開催

3月27日(火)、揖斐川町役場で「2012いびがわマラソン」の第1回実行委員会が開催され、関係者ら約50人が出席しました。実行委員会で、事業計画案や収支予算案などが承認され11月11日(日)の大会に向けて開始しました。

宗宮町長は「25回目の節目の大会を迎えますが、縁の下の力持ちであるボランティアの皆さんのおかげです。」とあいさつし、西濃地区陸上競技協会の田口会長は「いびがわはおもてなしの大会。最近では「おもてなし」という言葉が日本中で使われるようになったので、もっと力強い何かを発信し、皆さんと共に一生懸命取り組みたい。」と話されました。



▲いびがわマラソン実行委員会の様子

ながせ幼稚園お別れ会
59年間の歴史に幕

3月27日(火)、ながせ幼稚園(谷汲長瀬)で最後の卒園式とお別れ会が行われました。

ながせ幼稚園は、1953年に善立寺(谷汲長瀬)の住職が私立長瀬保育所を開設したのが始まり。1983年に谷汲村立となり、2005年に揖斐川町立長瀬保育園、2011年に揖斐川町立ながせ幼稚園に名称変更され、4月からたにぐみ幼稚園と統合となりました。

卒園式では、年長児4人に保育証書が手渡され、お別れ会では、懐かしい写真のスライドショーや園児の遊戯や歌が披露されました。



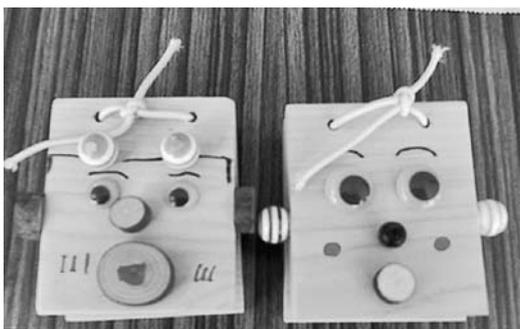
▲お別れ会で歌を披露する園児

間伐材を使ったおもちゃづくり
いび地域環境塾

3月10日(土)、揖斐郡内のNPO法人で構成するいびNPO法人連絡協議会が開催する「第12回いび地域環境塾」が揖斐川町中央公民館で開催され、揖斐郡内の親子約30人が参加しました。

今回は、ヒノキの間伐材を使ってカスタネット作りに挑戦しました。参加者は、たくさんある材料の中から自分の好きな音を探し出して組み合わせ、思い思いの飾り付けをしました。

子どもたちは「ヒノキの良い香りと素敵な音がする。自分だけの一つしかないカスタネットができてうれしい。」と話していました。



▲参加者が作ったカスタネット